

仕様書

IoT 推進部

1. 件名

「IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ」に係るOSSの技術検証、CSIRT・PSIRT連携等に関する調査

2. 目的

「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期/IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ」(以下「本プロジェクト」という。)においては、セキュアな Society5.0 の実現に向け、様々な IoT 機器を守り、社会全体の安全・安心を確立するため、IoT システム・サービス及び中小企業を含む大規模サプライチェーン全体を守ることに活用できる『サイバー・フィジカル・セキュリティ対策基盤』の開発と実証に取り組んでいる。

近年ソフトウェアの重要性が増し、企業においても Open Source Software (以下「OSS」という。)の活用が進む中、安全な OSS の選定や、利活用するソフトウェアの脆弱性管理など、ソフトウェアの利活用に起因するサプライチェーンセキュリティリスク対策の必要性が顕在化してきている。本調査では、OSS のセキュリティ確保に関する技術検証項目の事例を調査すること、及び、インシデント発生時に CSIRT と PSIRT が迅速に機能するために連携すべき技術情報について、その課題・方法を分析・提言すること、その技術検証を担う人材育成案を作成することを目的とする。

3. 内容

以下の各業務の実施においては、本プロジェクトの研究開発計画概要について情報収集した上で、適時本プロジェクトのプログラムディレクター/サブプログラムディレクターと NEDO に相談の上行うこと。

(1) セキュリティ確保に関する OSS の技術検証項目の事例調査

- ① サプライチェーンセキュリティリスクに対処するための検証活動のあるべき姿を調査分析して報告する。特に OSS を活用するために必要な要因を明らかにする。
- ② OSS を活用し、そのセキュリティ確保に関わる技術検証の項目を調査し、具体的な事例を含めてどのように活用されているかを、その背景や今後の見通しも含めて分析し報告する。
- ③ 調査に当たっては、机上での調査に加えて具体的なヒアリング先を選定し、実施することを検討する。

(2) OSS に関わる CSIRT・PSIRT 連携案、情報フォーマット案の作成

- ① OSS の活用に関わる CSIRT・PSIRT 連携案について有識者の意見を集め、その結果を分析し、より良い連携の方法について提言する。
- ② 上記の連携において、OSS に求められる情報のフォーマットについても調査を行い、その結果を分析してフォーマット案を提言する。
- ③ OSS の品質保証や製品セキュリティ維持に関わる組織・団体と、その取り組み内容を調

査・分析する。

(3) 技術検証を担う人材育成案の作成

OSS のセキュリティ確保に関わる人材の状況について調査する。また、(1)、(2)の結果より今後ますます重要となる技術検証を担う人材の育成案について、現在の状況を踏まえて有識者の意見を集め、その結果を分析し、人材の育成案について提言する。

(4) その他

NEDO からの要請があった場合は、協議の上、可能な限り反映すること。また、当該調査の実施により知り得た知見・個人情報は、当該調査のためだけに利用することとし、調査終了後は速やかに情報を破棄すること。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2021 年 3 月 19 日（金）まで

5. 報告書

提出期限：調査報告書 2021 年 3 月 19 日（金）

提出部数：電子媒体 CD-R（PDF ファイル形式） 1 枚

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上